



初任科第 94 期 日進月歩

静岡県消防学校 初任科だより vol. 5

～実科査閲～

9月12日（火）に実科査閲が行われました。今まで学んできた訓練内容を学生が主体となり、各所属の消防長や家族に対して訓練の成果を披露しました。

訓練礼式、機器取扱訓練、消防活動訓練、消防活動応用訓練、救助訓練の班に分かれ、9月初めから一層の技術向上を図りました。訓練礼式では各個訓練や集団行動、機器取扱訓練ではエンジンカッターの取扱いや三連はしご操法、消防活動訓練では基本・応用放水体形や車両・建物火災対応、消防活動応用訓練では応急はしご操法や屋内進入、救助訓練では車両救出や引き上げ救助を行いました。

最後に一斉放水が行われ、青空に向けた放水や響き渡るサイレンは私たちの半年間の汗と涙を思い出させるような素晴らしいものとなりました。

～初任科修了～

緊張した面持ちで入校式を迎えたあの日から、教官方の厳しい指導や慣れない寮生活を経て、消防士とはどのような存在であるべきかを各個人が理解を深めることができました。「当たり前なことをばかにしないでちゃんとやる」「やってもやらなくても一日は終わる、どうせやるなら一生懸命やれ」「訓練に終わりはない」など教官方の言葉は初任科生にとってどれも胸に響くものばかりでした。

初任科修了後、学校で学んだことを各所属で十分に発揮したいと思います。私たちには所属で活躍する責任があります。

何か大きな壁に阻まれたときは、一緒にいた仲間のことを思い出し、絶対に乗り越えていきます。何年経っても初心を忘れずに今後の消防人生を過ごしていきます。

初任科での思い出は絶対に忘れません。最後になりますが、私たちに全力でぶつかって指導をくださった教官方、そして一緒に励まし合い、苦楽を共にしてきた第94期の仲間に感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。



(実科査閲・消防活動応用訓練)



(実科査閲・一斉放水)

発行日：令和5年9月26日

発行元：静岡県消防学校

制作：静岡県消防学校 初任科第94期 文化委員

三枝 大輝（駿東、文化委員長）

木原 真斗（下田）